

支 援 部 通 信

令和2年8月28日

第3号

岩手大学教育学部附属特別支援学校 支援部

進路について

○進路指導とは？

→卒業後、どこの会社・障害福祉サービス事業所に行くのか、という進路選択のための指導だけではありません。卒業後5年後、10年後を見越して、一人一人が豊かな生活・労働を目指すことが「進路指導」です。

○進路指導はいつからやる？

→進路指導は卒業を目前にした一時期のみ行われるのではなく、日々の学校生活、家庭生活全般にわたって行われるものです。

○小学部の進路ってなに？

→小学部段階は、職業及び生活に関わる基礎的な力を獲得する時期で、様々な活動をとおして意欲や自主性を育てながら、中学部の学習につなげていきます。

		
あいさつや返事、友達と一緒に活動に取り組む、自分なりの方法で伝える姿	好きな事を選ぶ、分からない事を聞く、活動を振り返る姿	係活動や道具の準備、片付け、決まりを守る、やりとげる姿
※進路希望調査、進路支援説明会、事業所見学会、進路講演会も行っています。		

○家庭では何をすればいいの？①

→家庭での「お手伝い」を大事にしましょう。何のお手伝いをすればいいか悩むご家庭は、各学級の担任の先生と相談してみてください。（お手伝い参考表は会議室前に掲示しています）
働く習慣を身につけ、働くよろこびを感じられるように、子どもの実態に応じたお手伝いをお願いします。

○中学部の進路ってなに？

→中学部では校外学習や作業学習をとおして、社会生活に対する関心を向け、みんなと共に働くことや自分らしさを表現する力を身につけ、高等部の学習につなげていきます。

			
作業学習を通して将来の職業生活や社会自立に必要な事柄を身に付ける	事業所見学を通して、様々な職業に関心をもつ	高等部校内実習の見学や体験	入学選考に向けての事前学習
※進路希望調査、進路支援説明会、事業所見学会、進路講演会も行っています。			

○家庭では何をすればいいの？②

→様々な公共交通機関や公共施設の利用などルールやきまりを守って利用してみましょう。ルールやきまりについては、本人と事前に確認し、場所や時間を限定して取り組みましょう。学校での校外学習の様子を参考にしてみてください。

○高等部の進路ってなに？

→校内・現場実習や作業製品の販売活動をとおして社会生活に必要な実地的な知識・技能を身につけ、職業に対する理解を深め社会参加につなげていきます。進路選択・決定には、本人の思い、家庭の思い、学校生活の様子、実習等の評価を総合的に判断して進めていきます。

			
作業学習	校内実習	校内実習 (農場)	現場実習
			
アセスメント実習	事業所体験・面談会	事業所見学会	随時実習
※進路希望調査、進路支援説明会、事業所見学会、進路講演会、進路面談、移行支援会議同窓会での情報交換会、計画相談の準備、面接（一般就労）も行っています。			

○家庭では何をすればいいの？③

→本人の得意・不得意や特性や、居住地域から通勤可能な事業所を調べたり、将来の生活スタイルをイメージし短期入所やレスパイトの検討も進めましょう。進路で不明なことがあれば、学級担任を通じて進路までお問合せ下さい。

○どんな事業所があるか分からない・・・

→進路の手引きに一覧があります。毎年更新はしていますが、事業所情報は変更することがあります。詳しくは、各市町村のホームページをご覧ください。

○何を基準に進路を決定すればいいの？

→進路選択・決定には、本人の思い、家庭の思い、学校生活の様子、実習等の評価を総合的に判断して進めていきます。その際、優先順位を付けておくことで、選択しやすくなります。

○事業所の見学をしてみたい・・・

→事業所見学会を実施しています。（今年度は中止になりました）

→各事業所で行われているイベントに参加してみましょう。事業所からイベントの案内が届いた際は、学校から配付文書でお知らせしたり、学校の廊下に掲示したりしています。

支援部学習会④ 「発達障害の特性理解と特性に応じた支援」

新型コロナウイルスの影響により、今年度の学習会は第1回から第3回まで中止となっていました。8月5日（水）にようやく、今年度初めての学習会を開催することができました。今回は、岩手大学教育学部の鈴木恵太先生をお招きし「発達障害の特性理解と特性に応じた支援」というテーマでたっぷりとお話いただきました。夏休み中の開催ということもあり、幼稚園・保育園・こども園職員の他に小学校や中学校職員の方々にもご参加いただきました。

講義では、様々な発達障害の特性について、生活面や学習面でどのような様子となって表れるか、具体的にお話いただきました。またそのような子どもたちの特性に合わせた環境づくりの仕方について、主に教育の場を例に挙げ、お話いただきました。すぐにでも実践できそうな具体例をたくさん提示していただき、参加者からは、「明日からの実践に役立てたい」「同じテーマで何度でも聞きたい」「学校内で話題にしていきたい」など、たくさんの感想が寄せられました。

